

体感しよう！奥州市の農業

奥州市 グリーン・ツーリズム フォーラム

～自然の素晴らしさと人の優しさを
奥州市からあなたに～

- 期 日 平成19年10月21日(日)
- 場 所 国民宿舎サンホテル衣川荘(☎3311)
- 参加費 無料(下記オプションツアー参加者は参加費が別途かかります。素敵なプレゼントを用意)
- 対 象 どなたでも参加できます
- 申し込み締め切り 10月12日(金)
- プログラム
 - ◆9:00～ 受付
 - ◆9:10～9:25 開会

【第1部】

- ◆9:30～10:20 「基調講演」
講師 旧衣川村長 佐々木秀康さん
- ◆10:30～11:50 「フリートーク」
テーマ「都市との交流を継続させるために」
- パネリスト■
 - ・大阪体育大学浪商高等学校教諭・PTA
 - ・金ケ崎町酪農農家
 - ・ひらいずみ型農業実践協議会

【第2部】

- ◆12:00～16:00 「オプションツアー」
- (1) 衣川区 【もの作り体験コース】
参加費 2,500円
定員 15人
内容 もの作り体験や古民家見学(昼食付き)
- (2) 胆沢区 【まめ・まめコース】
参加費 2,500円
定員 15人
内容 農家レストランでの豆を中心としたヘルシーな食事や体験活動をします
- (3) 前沢区 【前沢牛ご賞味コース】
参加費 3,500円
定員 20人
内容 前沢牛のコロコロステーキを賞味するほか牛の博物館見学とバター作り体験など

【問い合わせ】

おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会
(事務局：衣川総合支所産業建設課 内線 212)



受け入れ農家に聞きました

子どもたちの笑顔は 元気をくれる

もりひら
及川 守平さん
えつこ
悦子さん【前沢区】

日本の大部分は田舎であり、そこには多くの方が暮らしています。田舎は人間のふるさと・原点だと思います。その田舎暮らしを都会の子どもたちに体験してもらい、都会では得られない「人間のふるさと・原点」を感じ取ってほしい。若いときに心に刻まれた感動は、大人になっても忘れないもの。その感動を奥州市で感じてもらいたいと思っています。

物産展などで本市のPRをする際「食べてください、飲んでください」とやるのも1つの方法です。しかし子どもたちがグリーン・ツーリズムで実際にこの土地の土に触れ、この土地のものを食すなどして肌で感じた感動は、なによりの奥州市のPRではないでしょうか。

子どもたちとの触れ合いは、わたしたちの心にも感動を与えてくれ、それが元気の糧になっています。

受け入れ農家に聞きました

このまちと農業に興味 を持ってもらいたい

ちゅうこう
伊藤 忠孝さん
としこ
敏子さん【胆沢区】

わたしが受け入れをする際に心掛けていることは、あえて特別なことをしないということ。この地域の伝統・文化をそのまま体験してもらおう。農作業もいつもやっていることを伝える。食べものもスーパーで買ったものでなく、子どもたちがそのとき収穫したもの、この土地で取れたものを食べてもらおう。そうすることでこの地域そのものを伝えようと思っています。

子どもたちはわたしたちを「お父さん」「お母さん」と呼んで親しみを持って接してくれます。帰る際には、涙を流して別れを惜しんでくれます。短い間の触れ合いですが、わたしたちも毎回、胸が熱くなります。

この活動により、農業への理解を深めたり、このまちが好きになり、将来ここに移り住んだり、お嫁に来たりする子どもが出てきてくれればうれしく思います。



満足指数 120% おうしゅう グリーン・ツーリズム

昨年3月に組織された「おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会」。18年度は初年度ながらも活発な活動を見せました。ことしの春にもすでに多くの学生を受け入れ、大好評を得ています。今回、おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会の紹介と、来る10月に同協議会が行うグリーン・ツーリズムのイベントについてお知らせします。

グリーン・ツーリズムってなに

「グリーン・ツーリズム」とは、農山漁村地域の豊かな自然に親しみ、そこに息づく暮らしや文化、住民との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことです。

農山漁村地域を訪れ、その土地ならではの農林漁業体験・生活体験をしたり、地元産のたれたての農林水産物を購入したり、あるいはのんびりと過ごしたりすることは、都会で生活する人たちに新鮮な感動や安らぎを与えてくれます。

また、受け入れ側にとっても、都市住民が訪れてくれることで地域がにぎわい、活力がもたらされます。大がかりな観光施設や人を驚かすような特別な観光資源がなくても、今ある農村風景や地域の資源・産業・文化を使って、人と人が顔の見える対等な交流を行い、心の豊かさを得ることが出来ます。出会い、語り合うことで、一人一人が新たな生き方や自分探しをすること

昭和63年、旧衣川村が農業体験修学旅行として神奈川県の高校を受け入れたのが、この地域でのグリーン・ツーリズムの始まりです。都市部では、年々グリーン・ツーリズムへの関心が高まり、衣川での受け入れ人数も増加していきました。平成15年には、旧衣川村が「衣川村グリーン・ツーリズム協議会」を設立。同年、旧胆沢町が「いさわグリーン・ツーリズム推進協議会」を設立し、旧衣川村と連携しながら、都市部の高校の受け入れを始めました。また16年9月には、旧前沢町でも「前沢町グリーン・ツーリズム推進協議会」を組織。大阪の高校を衣川胆沢、前沢と町村の枠を超えて受け入れし、その連携体制は、県内の先進的な地域として注目され、成果を上げてきました。

おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会の誕生

ができるのもグリーン・ツーリズムの魅力の一つです。

おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会のこれから

本市は、豊かな自然に恵まれ、主に農林業が盛んな地域であることから、グリーン・ツーリズムには非常に適した地域といえます。農林業が積極的に教育とかわった地域づくりは「本市の交流人口増加対策」の柱になるものとして大いに期待されています。また、現在も首都圏域からの体験学習要望が増加していることから、受け入れ体制の拡充や指導体制の構築、多様な体験のメニュー化などが当面する課題となっています。

おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会は、地域活力再生と本市の産業振興のため、住民と連動しながら積極的に活動を進めていきます。